

39. 発達障害ナビポータル教育・福祉の連携に関する研修コンテンツの充実

企画・情報部 発達障害情報・支援センター 石坂務、河内美恵、渡邊文人、与那城郁子、
泉浩平、中林睦美、中澤将人、坂元理奈、山脇かおり

【はじめに】「家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト」報告（平成30年3月）より、文部科学省、厚生労働省の下、国立特別支援教育総合研究所・発達障害教育推進センターと発達障害情報・支援センターは、教育・医療・保健・福祉・労働と連携した切れ目ない支援のための情報発信と発達障害のあるご本人やご家族等が活用しやすい情報提供のあり方等について検討を重ね、令和2年度に発達障害に関するポータルサイト「発達障害ナビポータル」を構築し、令和3年度より両センター共同で本格的な運用を開始した。本稿では発達障害ナビポータル支援者ページに掲載されている、教育と福祉の連携に関する研修コンテンツについて紹介する。

【教育福祉連携のための研修ガイド・モデル研修動画集】プロジェクト発足を受け、両センターは、令和元年度に「発達障害に係る教育と福祉の支援人材の専門性と研修の在り方検討報告書」を作成するとともに、支援者の専門性を整理して「連携・協働に関する研修カリキュラム」を作成した。令和2年度には、都道府県及び政令指定都市等が研修の実施主体として教育関係者と福祉関係者が対象の研修会を企画・実施するための「研修実施ガイド」を作成した。令和3年度には教育と福祉の両分野で共通する専門性14項目について、57本のモデル研修動画集を作成し、令和4年4月に公開した。モデル研修動画集の令和4年度の総視聴回数は14,160回であった。

【ペアレント・トレーニング等に関する研修】発達障害者支援法においては、家族支援の重要性が強調されており、「ペアレント・トレーニング」についても広く認知されるようになってきた。厚生労働省障害者総合福祉推進事業「発達障害支援における家族支援プログラムの地域普及に向けたプログラム実施基準策定及び実施ガイドブックの作成」（令和元年度）において明示された基本プラットフォーム（プログラムの核となる要素）に基づき、令和3年に発達障害支援者向けセミナー「発達障害のある子と家族を支援するプログラム～ペアレント・トレーニングの地域普及をめざして～」として行った講義動画をコンテンツとして公開した。令和4年度には教育・保育・福祉などで子どもの支援に従事する方々がペアレント・トレーニングの技法を実際の支援現場で活用できるよう、基本的な考え方や知識の習得を目的に発達障害支援者向けセミナー「子どもの発達を支える効果的な対応～ペアレント・トレーニングのスキルを教育・保育現場に活かす～」を実施し、支援者に向けた「総論編」としてコンテンツ化した。さらに、「実践編」として実際の支援現場で活用できるよう、実践的な技術を段階的に習得することを目的に、実際に子どもの支援に従事する職員を対象に行ったグループセッションをコンテンツとして公開した。

【教育と福祉の連携構築に向けた実践報告】令和3年度に本センター前教育・福祉連携推進官より、地域における教育と福祉の連携推進のモデルづくりについて、実践を通じて見てきた「教育と福祉の連携が進むきっかけ作り」や「連携を継続するための工夫点」などについてコンテンツとして公開した。また令和5年2月「令和4年度 家庭と教育と福祉の連携推進のためのシンポジウム」に登壇した、3自治体の実践報告を支援者向けコンテンツとして公開した。引き続き業務を通じながら、ニーズに即した研修コンテンツの充実を図りたい。